

ChalleKids

チャレキッズ～障がいのある子どもたちの夢を叶えるプロジェクト

3 お仕事体験



チャレキッズプロジェクトとは？

平成 27 年 4 月に福岡市発達教育センター（福岡市教育委員会）と市民団体との共働で生まれました。社会的に「特別」となっている障がいのある子どもたちに対し、養護・支援という関わりだけでなく、自立、就労という可能性を広げていくことで、社会にある障がい者観や福祉観を革新していきながら、その夢（可能性）と社会をさまざまなアプローチでコミットさせていくことが狙いです。

障がいのある子どもたちが夢に近づく、夢が生まれるといった実験的な取り組みを公開していくことで、子どもたちの周りにいる親やきょうだいはもちろんのこと、就労や生活で大きく関わる地域社会の可能性も広げる事業を行っています。

3つの目的

選択する力を養う

自発性の芽を育てる

障がいに対する理解を深める

1 障がいのある人との働き方を考えるセミナー（一般企業向け）

第 1 弾企画として、一般企業の方を対象とした、障がい者雇用についての可能性やメリットを考えるセミナーを開催しました。基調講演では、「福岡大学人文学部」の徳永豊教授に、違いや多様性を理解し、働き方を創造することの大切さをお話いただき、「(株)八仙閣」の吉村高信総料理長と「(株)障がい者つくし更生会」の那波和夫専務取締役から事例報告では、障がい者が働く姿や共に働く意義や価値をわかりやすく紹介いただきました。後半は、参加者から寄せられた質問をもとに、障がい者への特殊な対応ではなく、違いや多様性を理解し、働き方を創造することの大切さを学び合いました。



4 チャレキッズ秋合宿2015～選択する力を育もう～

22名のチャレキッズが参加した1泊の秋合宿。今回泊するのは初めての子どもたちも多く、不安を抱かされていた保護者もいましたが、プログラムが始まると、子どもたちはワクワク。パーツを選んで自由に制作する「イロトリ鳥ワークショップ」、自分で食べたものを選ぶレストランでの夕食、散歩で拾った松ぼっくりでのオブジェ制作など、それぞれの感性を發揮してくれました。エンディングセレモニーではチャレキッズスタッフたちが別れを惜しんでしまうことに…。素敵な時間をサポートいただいたボランティアのみなさんに心から感謝です。



2015年度には、こんな企画に取り組みました！

- 2015年6月4日「障がいのある人との働き方を考えるセミナー」（一般企業向け）
- 7月21日、28日、8月7日「お仕事体験ワークショップ」（マッチング編）
- 8月21日～9月19日「お仕事体験ワークショップ」（現場編）
- 10月17日、18日「チャレキッズ秋合宿2015」（選択する力を育む1泊合宿）
- 12月23日「障がい児の『自立』を考えるセミナー」（保護者／支援者向け）
- 2016年2月21日「チャレキッズワークショップ～夢を拓くロードマップを創ろう！」



動物に近づく勇気をゲット！

人と動物との調和のとれた共生社会の実現を目指す「東都動物愛護管理センター（あにまるぼーと）」さんで、2人の男の子で動物のお世話を体験させていただきました。動物が苦手だった男の子も、事前の体験ワークショップで「やってみよう！」と果敢にチャレンジ！学校などで啓発活動に参加している犬の「ウッシーちゃん」と「むぎくん」のお散歩、餌やり、水換え、掃除などを体験しました。お世話をしたことで懐いてくれたことに大喜びの2人。指導いただいたスタッフさんから「障がい児の体験の場を増やしたい」という、嬉しい言葉をいただきました。



飼育も販売も大変で面白い！

障がいのある人たちの雇用の門戸を開くために、金魚の養殖販売を展開されている「木花養魚苑」さんへ、男の子3人がお仕事体験にチャレンジ！まずは、金魚が泳ぐ水槽の掃除から！金魚を水槽から移す作業は意外に難しく、まさに金魚すくい状態。水槽を洗う高圧洗浄機にも興味津々。楽しい気持ちそのままに、今回は手洗いで水槽をゴシゴシ！初めての作業でも積極的に楽しんで取り組んでくれました。指導いただいたスタッフさんからは、子どもたちの自主性ややる気を引き出さずいただきました。お世話した金魚をご褒美でもらった3人はとても嬉しそうでした。



「土」を手で感じた1日！

“人と人をつなぐ”コンセプトで植物や野菜などを育てて販売されている「日高農園」さん。「実践からその人の能力を引き出す環境を整えてあげることが大事」という考えから参加いただきました。チャレンジしたのは、お花と果物が大好きな女の子2人。まずは、緑溢れる環境で大好きなイチゴ「あまおう」の苗の間引きを体験。柔らかな土に触れて、「温かくて気持ちいい！」の声。トマトや空心菜の収穫も体験し、最後は、胡蝶蘭を使った鉢植えの制作。コケや草花を合わせて自分だけのオリジナル鉢植えが完成しました！



「やればできる」を知ったよ！

障がいのある人たちの雇用を先進的に実践され、幼い頃からのキャリア教育の必要性を日頃からうたわれている「餃子の黒兵衛」さん。初めて包丁を持つ男の子とお世話好きな女の子の2人で、助け合いながらのチャレンジ！最初は慣れない作業で餃子のタレをこぼしたりしちゃうのですが、回数を重ねる毎に上手くなり、生姜のみじん切りでは「トントントン」と、厨房に心地良い音が響きます。最後は、自分たちが手がけた餃子を家族に振る舞ってニンマリ。最後の一言は「あ～疲れた」。お疲れさまでした！



ただの作業じゃないんだよ！

博多織を使った雑貨の製造を行っている「数寄家」さん。以前より障がい者施設への仕事委託など行っておられ、今後の可能性を探るべく参加いただきました。元気いっぱい男の子3人がチャレンジしたのは、木製の人形の型に博多織の端切れを重ねて作る「博多織人形キット」の制作。初めて見るレーザーカッターに興奮しながらも、自分が選んで商品に展開できる喜びに「もう一個作りたい！」の声。お客さんに同じ喜びを味わってもらえるよう、心を込めて作りました。個性が能力や魅力になって活かせる仕事に展開できる体験をさせていただきました。



次世代の職人はボクたちだ！

職人さんが減少する中、障がいのある人たちにもできる仕事があるのではないか？そんな思いからプロジェクトに参加いただいた「九州ウォール建材」さん。工作物が大好きという男の子がチャレンジ！「理想のお部屋」を描いて素材をコーディネートしたプレゼン資料を作成！戸棚づくりにも挑戦し、初めて体験するネジ締めでは困惑した一面もありましたが、感性と集中力を発揮し、就労の可能性を感じさせてくれました。今回の体験で、「個性と照らし合わせて仕事を組み立てる」という大切さを教えていただきました。

5 障がい児の「自立」を考えるセミナー（保護者／支援者向け）

障がい児を持つ保護者や支援者など47名に参加いただきました。事例報告では、保育所等訪問支援事業所「Switch」の高橋知義氏（作業療法士）からは生活用具の改良やICTの活用・視覚化によって子どもの潜在能力を引き出した事例、「福岡市立東部療育センター」の坂口美由紀氏（臨床心理士）からは、発達障がいの特性と支援の具体的方法、チャレキッズ発起人「ワークオフィス絆結」の船越哲朗（社会福祉士）からは、就労に向けての準備についてお話いただきました。後半のパネルディスカッションでは、「障がい児の自分らしさを生み出す環境づくり」について参加者とともに学び合うことができました。



6 チャレキッズワークショップ～夢を拓くロードマップを創ろう！～

保護者、家族、学校担任教員、福祉施設職員など50名に参加いただきました。3グループに分かれ、各グループの障がい児の「将来やりたいことや夢」をもとに、それを実現するための方法や必要な力・サポートを紡ぎ出すワークショップを行いました。初めて障がい児に会う方も含め、「PATH～Planning Alternative Tomorrows with Hope」という手法で、さまざまな視点から障がい児の夢の実現を楽しく真剣に語り合いました。参加者からは「さまざまな視点からの意見が多く、新しい発見があった」、「支援や工夫のヒントをいただき、今後の役に立てたい」という声をいただきました。



1年目のプロジェクトを終えて

1年目は、3つの目的を軸にして、障がいのある子どもたちを中心に、周りを取り巻く保護者・教員・支援者・企業のアプローチし、それぞれに新たな気付きを生み出したことに加え、それぞれが有機的につながることができるヒントを得られたように感じます。

障がい者と共に働くことが、人間力を育てることを教えてくれた「企業向けセミナー」。障がい児と保護者と企業がお互いに歩み寄り、一人一人の個性を大切に理解した上で、良質な経験の機会を創り出そうと取り組んだ「お仕事体験ワークショップ」。障がい児が親元を離れ、自由な発想で自分好みの選択をし、様々な貴重な経験をした「秋合宿」。障がい児の可能性を信じ、待つことの大切さを学んだ「保護者・支援者向けセミナー」。そして、最後に1年の取り組みの総仕上げとして、障がい児を中心に保護者・教員・支援者・企業・その他の社会の人々が一堂に会し、手と手を繋ぎながら周りを囲み、障がい児の夢とその実現のロードマップを一緒に考えた「夢を拓くワークショップ」。

プロジェクトメンバーの行政と民間のNPOが、それぞれの経験とネットワークと知恵を生かし、相互が有益に連携しながら1年の取り組みを行ない、「障がいのある子どもたちの夢を叶える」ことの可能性と愉しさを社会に発信できた1年であったと思います。

2年目のプロジェクトに向けて

質と数、多くの方に活動を届ける取り組みへ

2016年度は、1年目に得た経験を活かし、教育現場も巻き込みながら、職業体験の数を増やし、企業への啓発をより具体的な行動に移し、気付きを得るワークショップを多くの方に行きたくします。

具体的には、児童生徒の「夢」「なりたい職業」を集め、そのデータをもとにお仕事体験をコーディネート。その際に本人や周りなどの未来を描いているかをワークショップで掘り下げ、活動と経験を意識的に繋げて行きます。その経過を追うとともに、企業に対しては先行して障害者雇用を行う企業への見学会とワークショップの機会を設け、啓発の場として行きます。さらに、多くの児童生徒の選択する力を引き出すワークショップの実施も計画しています。

障がい児童生徒のより良い未来を拓くため、皆様のご協力、ご賛同をよろしくお願ひ申し上げます。

- 団体名称
チャレキッズプロジェクト実行委員会
- 構成メンバー
委員長：樋口龍二(NPO法人まる 代表理事)
副委員長：森孝一(福岡市教育委員会発達教育センター 所長)
発起人：船越哲朗(合同会社絆結 代表社員)
発起人：永野明(ハンドサイクリスト)
事務局長：中嶋一願(ラジオプロデューサー office sb2 代表)
委員：山本 武志(福岡市教育委員会発達教育センター 主任指導主事)
委員：赤松 良江(福岡市教育委員会発達教育センター 就職指導員)
ほか、監事2名
- 所在地・連絡先
チャレキッズプロジェクト実行委員会事務局
〒811-1344 福岡市南区三宅 2-9-28
☎090-3415-3315 FAX 092-843-1089
E-mail challekids01@gmail.com

プロジェクトの動画や2016年の最新情報は…

- チャレキッズのオフィシャルサイト
<http://challekids.com>
- チャレキッズのfacebookで
<https://www.facebook.com/challekids>

